

総合計画審議会 会議経過要旨

会 議 名	第1回木津川市総合計画審議会		
日 時	令和5年5月29日（月） 午前10時00分～午前11時30分まで	場 所	本庁舎4階 4-4会議室
出 席 者	委 員 ■：出席 □：欠席	（公募委員） □笠井 隆司委員、■中村 裕彦委員、■柳澤 充子委員 （識見委員） ■今里 佳奈子委員、■真山 達志委員 （委員） ■石塚 修二委員、■河合 智明委員、■小松 信夫委員、 ■坂本 利正委員、■中崎 鉄也委員、■松永 弘道委員、 ■松本 耕考委員、■森川 泰行委員、■森田 千晶委員、 ■渡邊 かおる委員	
	その他出席者	—	
	庶 務 （事務局）	船岡政策監、茅早マチオモイ部長、西村学研企画課長、 松下主幹、吉田課長補佐兼係長、井上主任	
議 題	1. 開会 2. 市長あいさつ 3. 委員紹介 4. 会長・副会長選出 5. 会長あいさつ 6. 諮問 7. 議事 （1）確認事項 ①木津川市総合計画審議会の運営について ②第2次木津川市総合計画後期基本計画策定方針について （2）報告事項 第2次木津川市総合計画の概要について （3）審議事項 市民・中学生アンケート調査（案）について （3）その他 次回審議会開催日程について 8. 閉会		

会議結果要旨

1. 開会
事務局から開会を宣言した。
2. 市長あいさつ
市長から、開会にあたり挨拶があった。
3. 委員紹介
各委員及び事務局から、自己紹介があった。
4. 会長・副会長選出
木津川市総合計画審議会条例（以下「条例」という。）第5条に基づき、次のとおり会長及び副会長を選出した。
会長：真山 達志委員（同志社大学政策学部教授）
副会長：今里 佳奈子委員（龍谷大学政策学部教授）
5. 会長あいさつ
会長から、就任にあたり挨拶があった。
6. 諮問
条例第2条に基づき、市長から、真山会長に諮問を行った。
7. 議事
 - (1) 確認事項
 - ①木津川市総合計画審議会の運営について
資料1、資料2、資料3に基づき、事務局から説明し、審議会の運営について確認した。
また、内規第5条第2項の規定により、今回の審議会の会議経過書の署名委員に中村委員を指名した。
 - ②木津川市総合計画策定方針について
資料4に基づき、事務局から第2次木津川市総合計画後期基本計画策定方針（案）について説明し、確認した。
 - (2) 報告事項
 - ①第2次木津川市総合計画の概要について
参考資料に基づき、事務局から、木津川市の概況、第2次総合計画後期基本計画の概要について説明を行った。

	<p>(3) 審議事項</p> <p>①市民・中学生アンケート調査（案）について 資料5、資料6、資料7に基づき、アンケート調査について提案説明を行った。</p> <p>(4) その他</p> <p>①次回審議会開催日程について 第2回審議会は、令和5年8月下旬に開催の予定。日程が決まり次第連絡する。</p> <p>8. 閉会 参考資料に基づき、事務局から木津川市の概況について説明を行った。</p>
<p>会議経過要旨</p> <p>◎会長</p> <p>○委員</p> <p>●事務局</p>	<p>1. 開会 会議結果要旨のとおり。</p> <p>2. 市長あいさつ 本市においては、平成21年に、「水・緑・歴史が薫る文化創造都市」を将来像とする「第1次木津川市総合計画」を、平成31年には、現在の総合計画である「第2次木津川市総合計画」を策定し、まちの将来像を、「子どもの笑顔が未来に続く 幸せ実感都市 木津川」として、まちづくりに取り組んできている。</p> <p>第1次総合計画では、市制を開始した新たなまちとしての礎を構築することを主眼に取り組み、第2次総合計画では、持続可能なまちづくりや、中長期的な施策展開の視点から、各種の施策を推進してきた。</p> <p>このような取組の成果として、本市は、人口減少社会の時代にあって、多くの子育て世代の方々に転入いただいている。</p> <p>一方で、少子高齢化のさらなる進展、公共施設や道路などの社会インフラの老朽化が進んでおり、さらには、持続可能な開発目標である「SDGs」の取組も推進する必要がある。昨年の本市の人口状況を見ますと、人口増加傾向が一定の落ち着きを見せ、今後は、全国の自治体と同様に人口減少に転じる転換点を迎えるものと考えており、若い世代の定着や、ふるさと木津川市への想いを醸成していく施策の充実が必要と考えている。</p> <p>また、本市の財政面について、さらなる行財政改革を進める指針として本年3月に「第4次木津川市行財政改革大綱」を策定し、人口減少時代にあっても持続可能な行財政運営システムの構築や、行財政サービスを安定して提供し続けるための指針を策定した。</p> <p>今後は、協働・共創の視点のまちづくりの推進や、行政事務のスマー</p>

ト化などにより、人口減少時代の行政課題に対応しながらも、本市の特長である学研都市としての最先端の技術の活用と、古からの歴史・自然・文化を未来に受け継ぎつつ、「木津川市に住みたい。住み続けたい。住んでよかった。」とさせていただくための施策の推進を図ってまいりたい。

4月に市長に就任し、早1か月が経過した。選挙期間中は、市民の方々から「木津・加茂・山城の各地域間の結びつきを強めるとともに、それぞれの地域の特色を活かした均衡のとれたまちづくりを進めてほしい。」という声があった。そういった声を実現できるよう、これからの4年間の市制運営に努めていく。

それぞれのお立場から、ご意見・ご提言を賜り、より良い「第2次総合計画後期基本計画」が策定できるようお願いしたい。

3. 委員紹介

会議結果要旨のとおり。

4. 会長・副会長選出

会議結果要旨のとおり。

5. 会長あいさつ

総合計画は、市にとって最上位計画と言われている。一番中心で、総合的かつ根幹となる計画となる。今回はその中の後期計画になるが、新しく谷口市長が就任し、新たな思い・政策を反映し、これまでの木津川市の良い点を引継ぎながら、さらに発展していくような計画を策定できるようお願いしたい。

6. 諮問

会議結果要旨のとおり。

7. 議事

(1) 確認事項

①木津川市総合計画審議会の運営について

会議結果要旨のとおり。

②木津川市総合計画策定方針について

会議結果要旨のとおり。

なお、主な意見・質疑は次のとおり。

○資料4の課題において、異常気象の記載があるが、近年の異常気象については温室効果ガスが原因の場合が多い。そのため、発生を抑制することも重要と考えるため、災害を起きてからではなく、事前に災害を防ぐことも考えていく必要がある。温室効果ガスは、目に見えるものではないが、広く啓発を行い、後期計画に盛り込んでいければと考える。

●第2次木津川市総合計画内の地球環境保全の施策に地球温暖化の対策について示している。後期基本計画の策定においても、市の中で、各施策について検証を行って、盛り込んでいければと考える。

○資料4の方針について、魅力的なまちづくりと記載があるが、観光振興だけでなく、観光産業も発展していく内容が盛り込んでいければ良いと考える。

◎いただいた内容について、具体的な素案の中に反映いただき、素案が作成された段階で、議論を重ねさせていただく。

○資料4の方針について、少子化対策の記載があるが、子育て支援についての文言も追加いただきたい。

●国としてもこども家庭庁を設立したところであり、市としてもより子育て支援は強化すべき点でもある。子育て支援の文言を補強し、進めさせていただく。

◎市においては、総合計画だけでなく、総合戦略でも子育て支援を重視している点もあるため、後期総合計画においても重視していく必要はある。

(2) 報告事項

①第2次木津川市総合計画の概要について

事務局より、木津川市の概況、第1次総合計画後期基本計画の概要について、説明を行った。

なお、主な意見・質疑は次のとおり。

○進行管理において、各施策の成果指標を追加等は可能なのか。

●基本的には、今回策定するのは後期基本計画のため、前期との比較になってくる。ただ、各施策においても状況変化があるため、今後見直しの可能性はある。各課に施策の状況を確認する際に検討させていただく。

	<p>◎施策の追加、廃止・中止もあるため、指標の見直しはあるかと思う。具体的な内容が見えてきた際にご意見いただきたい。</p> <p>(3) 審議事項</p> <p>①市民・中学生アンケート調査（案）について 事務局より、市民・中学生アンケート調査（案）について、資料をもとに説明を行った。</p> <p>(4) その他</p> <p>①次回審議会開催日程について 会議結果要旨のとおり。</p> <p>8. 閉会 会議結果要旨のとおり。</p> <p>なお、主な意見・質疑は次のとおり。</p> <p>○今後、外国人の方の情報は必要ではないか。 ●外国人の方の情報も含めさせていただく。</p>
そ の 他 特 記 事 項	